

金利マーケットへの手引き



金融取

2019年10月8日

Ver 1.1

株式会社 東京金融取引所

改版履歴

版数	発行日	主な変更内容
Ver 1.0	2014年7月15日	・新規作成
Ver 1.1	2019年10月8日	・金利システム 2019 更改に伴う変更

目次

1.	本書の内容と対象者	3
2.	金利システム 2019 の概要	4
2.1.	全体概要図	4
2.2.	環境種別	5
2.3.	利用形態	5
2.4.	ネットワーク	5
3.	運用時間	6
3.1.	取引時間(本番環境)	6
3.2.	システム運用時間	6
3.2.1.	業務開始時間帯[7:30~8:30]	7
3.2.2.	プレオープン時間帯[8:30~8:45]	7
3.2.3.	取引時間帯[8:45~11:30、12:30~15:30~20:00]	7
3.2.4.	昼休み[11:30~12:30]	7
3.2.5.	取引終了時間帯[20:00~22:00]	7
3.2.6.	業務終了時間帯[22:00~]	7
4.	商品仕様(本番環境)	8
5.	取引について	11
5.1.	通常注文の種類	11
5.2.	ブロック取引	11
5.3.	ストラテジー取引	11
5.4.	付合わせ	12
5.5.	注文の受付制限	12
5.6.	清算価格及び公式終値の算出と公表	12
6.	取引のリスクについて	13
6.1.	価格変動のリスク	13
6.2.	信用リスク	13
6.3.	システム障害リスク	13
6.4.	税制・法律等の変更リスク	13

1. 本書の内容と対象者

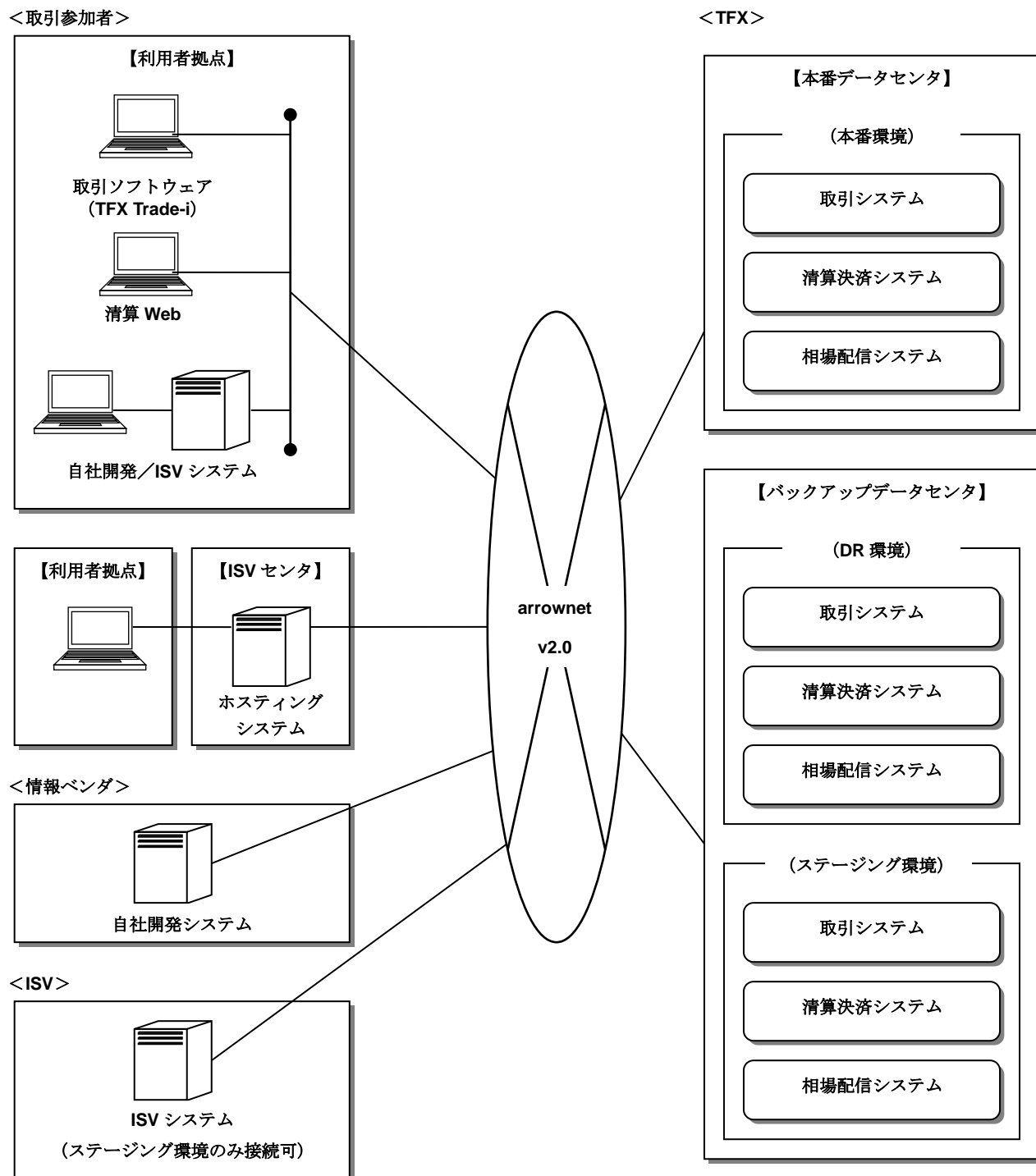
本書は、株式会社東京金融取引所（TFX）の金利マーケットにあまり馴染みがない下記のような方々を対象として、金利システム 2019 の主な特徴と機能を解説したドキュメントです。

- TFX の取引参加者である金融機関の新担当者の方々
- TFX の金利マーケットにご興味をお持ちの金融機関や機関投資家の方々
- 金利システム 2019 の概要をお知りになりたい金融マーケット関連ソフトウェア開発会社（ISV、情報ベンダ等）の方々

※より詳しい情報等については、TFX のウェブサイト <http://www.tfx.co.jp/> をご参照下さい。

2. 金利システム 2019 の概要

2.1. 全体概要図



2.2. 環境種別

本番環境	・ TFX の取引市場を提供する環境です。
DR 環境	・ 自然災害等により本番環境での業務継続が困難となった際、本番環境として機能します。 ・ DR 発動時に DR 環境へ切り替わることで、利用者は業務継続が可能です。
ステージング環境	・ 各種テストを行うための環境で、本番環境と同等の機能を持ちます。 ・ DR 発動時は使用できなくなります。

2.3. 利用形態

利用者	形態	説明
取引参加者	取引ソフトウェア (TFX Trade-i)	TFX が提供する取引ソフトウェア (TFX Trade-i) を参加者端末に導入することで、取引システム及び相場配信システムを利用することができます。
	清算 Web	参加者端末から Web ブラウザを通じて、清算決済システムを利用することができます。
	自社開発システム	TFX が提示する接続仕様に従い、自社開発したシステムにより、取引・清算決済・相場配信システムを利用することができます。
	ISV システム	TFX が提示する接続仕様に従い、ISV が開発したシステムを導入することで、取引・清算決済・相場配信システムを利用することができます。
	ISV (ホスティング)	ISV が提供するホスティングサービスを利用することで、取引・清算決済・相場配信システムを利用することができます。
情報ベンダ	自社開発	TFX が提示する接続仕様に従い、自社開発したシステムにより、相場配信システムを利用することができます。

2.4. ネットワーク

金利システム 2019 は、東京証券取引所が提供する **arrownet v2.0** ネットワークを利用しています。金利システム 2019 への接続にあたり、本ネットワークを利用するためには、直接、東京証券取引所と契約を締結する必要があります。

※ISV のホスティングサービスを利用される場合は、個別に **arrownet** 回線を調達する必要はありません。

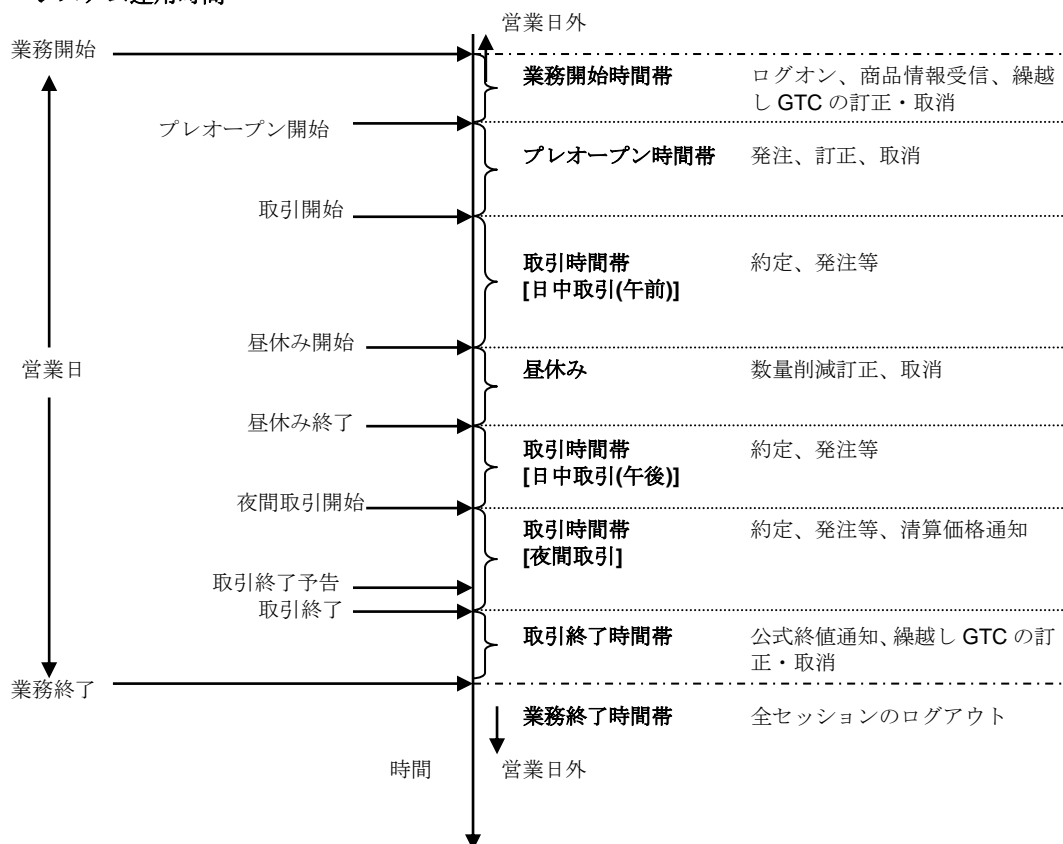
3. 運用時間

3.1. 取引時間（本番環境）

	業務開始	プレオープン開始	取引開始	昼休み	夜間取引開始	取引終了予告	取引終了	業務終了
東京	7:30	8:30	8:45	11:30 - 12:30	15:30	19:58	20:00	22:00
ニューヨーク	17:30 (18:30)	18:30 (19:30)	18:45 (19:45)	21:30 - 22:30 (22:30-23:30)	1:30 (2:30)	5:58 (6:58)	6:00 (7:00)	8:00 (9:00)
シンガポール	6:30	7:30	7:45	10:30 - 11:30	14:30	18:58	19:00	21:00
シカゴ	16:30 (17:30)	17:30 (18:30)	17:45 (18:45)	20:30 - 21:30 (21:30 - 22:30)	0:30 (1:30)	4:58 (5:58)	5:00 (6:00)	7:00 (8:00)
ロンドン	22:30 (23:30)	23:30 (0:30)	23:45 (0:45)	2:30 - 3:30 (3:30 - 4:30)	6:30 (7:30)	10:58 (11:58)	11:00 (12:00)	13:00 (14:00)

※括弧内は各地の夏時間表示。

3.2. システム運用時間



3.2.1. 業務開始時間帯[7:30～8:30]

業務開始以降、取引システムへの接続（ログオン）が可能となります。ログオン後、取引可能な全商品、限月、権利行使価格の基本データを取得できます。また、繰越し GTC 注文（本書 11 頁参照）の訂正・取消を実施できます。

3.2.2. プレオープン時間帯[8:30～8:45]

プレオープン時間帯とは、注文の事前受付専用時間帯のことです。この時間帯では注文の付合わせは行われず、約定は成立しません。注文の発注、訂正、取消のみ実施できます。

3.2.3. 取引時間帯[8:45～11:30、12:30～15:30～20:00]

取引時間帯では、注文の付合わせが行われ、約定が成立します。注文の発注等も実施できます。

取引時間帯は 15:30 を境に「日中取引（午前と午後）」と「夜間取引」の二つの区分に分かれます。日中取引はセッション 1、夜間取引はセッション 2 とも呼びます。日中取引（午前）はプレオープン時間帯後に続いて開始し、昼休み開始時までです。日中取引（午後）は昼休み終了後に続いて開始し、15:30 までです。夜間取引は 15:30 から開始し、その後取引終了まで続きます。

日中取引から夜間取引への移行は中断せずにシームレスで続きます。なお、日中取引時間帯に成立した取引については当日付けで、夜間取引時間帯に成立した取引については翌営業日付けで清算処理を行います。

日中取引終了後、各商品の清算価格が算出され、清算価格が通知されます。清算価格算出に要する時間は日によって異なり、必ず決まった時間に通知されるわけではありません。

3.2.4. 昼休み[11:30～12:30]

昼休みでは、注文の付合わせは行われず、約定も成立しません。また、注文の発注もできません。ただし、昼休みの前に発注された注文については、マーケットの板に残され、数量削減訂正及び取消のみ実施できます（価格の訂正はできません）。

3.2.5. 取引終了時間帯[20:00～22:00]

取引終了を迎えると、全ての注文の付合わせが停止されます。注文の発注等は、翌営業日のプレオープン時間帯を迎えるまで実施できません。ただし、業務終了までは繰越し GTC 注文（本書 11 頁参照）の訂正・取消のみ実施できます。

取引終了後、オプション商品を除く各商品の公式終値が算出され、公式終値が通知されます。公式終値算出に要する時間は日によって異なり、必ず決まった時間に通知されるわけではありません。

3.2.6. 業務終了時間帯[22:00～]

業務終了時間帯を迎えると、全セッションがログアウトされ、取引システムへの接続が不可能となります。この際、繰越し GTC 注文を除くすべての注文が自動消去されます。

4. 商品仕様（本番環境）

商品名	ユーロ円 3 ヶ月金利先物	ユーロ円 3 ヶ月金利先物オプション	ユーロ円 LIBOR6 ヶ月金利先物 (※1)	無担保コールオーバーナイト金利先物 (※1)	
商品コード	EY	EYO	EL	ON	
同属商品	EY		EL	ON	
商品英字	Three-month Euroyen Futures	Options on Three-month Euroyen Futures	Six-month Euroyen LIBOR Futures	Over-Night Call Rate Futures	
上場限月	3 ヶ月毎×20 限月 シリアル×2 限月 限月間隔:3	3 ヶ月毎×5 限月 シリアル:なし 限月間隔:3	3 ヶ月毎×20 限月 シリアル×2 限月 限月間隔:3	日銀金融政策決定 会合間×6 限月 シリアル:なし 限月間隔:1	
取引単位	100,000,000	100,000,000	100,000,000	300,000,000	
行使価格刻み	—	125/1000	—	—	
ティック情報	ティック分母	1,000	1,000	10,000	1,000
	取引ティック幅	5	5	25	5
	最終決済価格ティック幅	1	1	1	1
取引最終日	限月第 3 水曜日の 2 営業日前		限月第 3 水曜日の 英国の 2 銀行営業 日前の日 (※2)	本取引所が指定する 日銀金融政策決定 会合の最終日	
決済価格通知日	取引最終日		取引最終日の翌営業日	取引最終日の翌営業日	
最終決済日	取引最終日の翌営業日		取引最終日の翌々営業日	取引最終日の翌々営業日	
新規限月の上場日	取引最終日の翌営業日		取引最終日の翌々営業日	取引最終日の翌営業日	
付合わせ	価格優先・時間優先方式				
ストラテジー	Calendar Spread (インプライド可否)	○ (可)	×	○ (可)	○ (可)
	Pack (インプライド可否)	○ (インプライド・インのみ可)	×	×	×
	Bundle (インプライド可否)	○ (インプライド・インのみ可)	×	×	×

注文手法	指値 (標準)	○	○	○	○
	指値 (GIS)	○	○	○	○
	指値 (GTC)	○ (※3)	○	○	○
	成行	○	○	○	○
	成行 (寄付)	○	○	○	○
	ブロック取引	○	○	○	○
発注数量制限		99,999	99,999	99,999	99,999
ブロック取引最低申告数量		100	100	100	100
オークション取引時間 (日本時間)	通常	業務開始	7:30		
		プレオープン開始	8:30		
		取引開始	8:45		
		昼休み開始	11:30		
		昼休み終了	12:30		
		夜間取引開始	15:30		
		取引終了予告	19:58		
		取引終了	20:00		
		業務終了	22:00		
	取引最終日 銘柄の取引 最終日	業務開始	7:30	7:30	7:30
		プレオープン開始	8:30	8:30	8:30
		取引開始	8:45	8:45	8:45
		昼休み開始	—	11:30	11:30
		昼休み終了	—	12:30	12:30
		夜間取引開始	—	15:30	—
		取引終了予告	10:58	19:58 (※4)	15:28
		取引終了	11:00	20:00 (※4)	15:30
		業務終了	22:00	22:00	22:00
ブロック取引 申告・承認可能 時間 (日本時間)	通常	日中申告開始	8:45		
		日中申告休止	11:30		
		日中申告再開	12:30		
		日中申告終了	15:15		
		夜間申告開始	15:30		
		夜間申告終了	19:45		
		承認開始	8:45		
		承認終了	20:00		
	取引最終日	日中申告開始	8:45	8:45	8:45

銘柄の取引 最終日	日中申告休止	—	11:30	11:30	
	日中申告再開	—	12:30	12:30	
	日中申告終了	10:45	15:15	15:15	
	夜間申告開始	—	15:30	—	
	夜間申告終了	—	19:45 (※4)	—	
	承認開始	8:45	8:45	8:45	
	承認終了	11:00	20:00 (※4)	15:30	
取引最終日取引終了前通知時刻		10:58	10:58	19:58 (※4)	15:28
取引最終日取引終了時刻		11:00	11:00	20:00 (※4)	15:30
取引最終日銘柄清算業務受付終了時刻		15:00	13:45	11:00	15:00
取引終了時刻前ブロック取引申告停止時間		15	15	15	15
発注可能価格上限値		999998	999998	9999998	999998
清算 関連 時刻	清算オンライン開始	8:00			
	清算業務受付開始時刻	8:30			
	本日分差入/返戻申告受付終了時刻	11:00			
	領収書閲覧開始時刻	15:00			
	翌日設定受付開始時刻	15:30			
	当日清算業務受付終了時刻	17:00			
	清算業務受付終了時刻	20:30			

(※1) 現在取引を停止中。

(※2) 当該日が日本の銀行休業日の場合は繰上げるが、取引最終日の夜間取引については、翌営業日付けでの取引となる。

(※3) ユーロ 3 ヶ月金利先物のストラテジー取引のうち Pack 及び Bundle については、GTC を付すことはできない。

(※4) 英国が夏時間の場合は、1 時間前。

5. 取引について

5.1. 通常注文の種類

- 指値注文

指定した価格またはそれより有利な価格で約定される注文。一部数量のみでの約定も成立し、未約定数量については、取消または約定されるまで、または下記の付与条件の時限を迎えるまで、マーケットの板に残ります。

- ① 「標準」条件

⇒発注した営業日の取引終了時が時限。

- ② 「有効セッション指定 (GIS:Good In Session)」条件

⇒発注したセッションの終了時が時限。この条件で日中取引（セッション 1）時間中に発注された注文は、夜間取引（セッション 2）が開始する 15:30 の直前に自動的に取消されます。なお、発注時のセッションと異なるセッションの指定はできません。

- ③ 「有効営業日指定 (GTC:Good Till Cancelled)」条件

⇒指定した営業日の取引終了時が時限。ただし、指定営業日を発注銘柄の取引最終日以降に設定しても、取引最終日には未約定数量が取消されます。

- 成行注文

成行注文を受信した時点のベストプライスで、そのプライスで提示されている数量すべてがなくなるまで執行されます。最初のベストプライスがすべて約定されると、次のベストプライスで執行され、その成行注文数量すべてが約定されるまで繰り返されます。約定しきれなかった成行注文の残った数量は、即キャンセルされます。なお、プレオープン時間帯に発注する場合に限り、下記「寄付」条件を付与する必要があります。

- ① 「寄付」条件

⇒取引開始時にアンクロッシング価格（本書 12 頁 5.4.付合わせのリンク先参照）で成行注文同士において約定が成立し、未約定数量がある場合は、当初の成行注文が当該価格による指値注文に変換されるという条件。ただし、アンクロッシング価格が算出されない限月及び銘柄については、プレオープン時間帯終了時に自動的に取消されます。

5.2. ブロック取引

ブロック取引とは、通常注文による取引と異なり、オークション方式や競争取引によらずに、TFX の定める数量以上で、同一限月又は同一銘柄の売付取引と買付取引を同時に成立させる取引です。同取引では、取引参加者の対当取引（クロス）または 2 つの取引参加者間による取引を成立させることができます。ブロック取引の成立には TFX の承認が必要になります。

ブロック取引の詳細については

https://www.tfx.co.jp/wholesale/products/pdf/block_seido_201402_j.pdf をご参照ください。

5.3. ストラテジー取引

ストラテジー取引とは、個々の商品を組み合わせた売買を 1 つのストラテジー注文として取り扱う取引手法で、現在、TFX ではストラテジー取引として先物商品のカレンダー・スプレッド、パック、バンドルが取引可能です。また、ストラテジー取引にはインプライド機能が付き、アウトライト取引での個々の商品の注文とストラテジー注文を連動させ、相互の流動性を活用することで取引が成立する機会を高めています。

インプライド機能の詳細については https://www.tfx.co.jp/wholesale/products/pdf/imprd_j.pdf をご参照ください。

5.4. 付合わせ

取引時間帯における付合わせは、価格優先・時間優先の原則に従って行われます。よって、高い買注文（低い売注文）が優先するとともに、同一価格での注文は早い時間に出された注文が優先されることになります。

取引開始時における付合わせについては <https://www.tfx.co.jp/wholesale/products/pdf/yoritsuki.pdf> をご参照ください。

5.5. 注文の受付制限

TFX では、価格の継続性の維持および誤入力防止の観点から注文の受付制限機能を設けています。注文の受付制限とは、取引参加者が TFX の定める基準価格から一定の値幅（入力可能幅）を超えた価格にて発注（高い買注文／低い売注文）をしようとする際に、TFX は当該注文の受付を拒絶する制度です。

※注文受付制限機能は発注時のみを対象とするため、一旦受け付けられた注文に対しては本機能は働きません。そのため、注文が一旦受け付けられた後で相場の変動等により当該注文の価格が入力可能幅を超えたとしても、自動的に取り消されるようなことはありません。TFX は、相場の状況等を勘案して必要と認めたときは、基準価格および入力可能幅の変更または注文の受付制限を停止することがあります。基準価格は必ずしも相場の実勢水準を保証するものではなく、全ての誤入力を防止するものではありません。注文を入力する際には、入力内容を十分確認の上、発注ください。

5.6. 清算価格及び公式終値の算出と公表

TFX は毎営業日、取引または建玉の有無に係わらず、全ての上場されている先物及びオプション商品に対して清算価格を算出し、公表しています。このように清算価格を公表することで将来の金利指標としての清算価格の公示性がより一層高まることが期待されます。なお、オプション取引の清算価格は原則として、銘柄毎に TFX が算出した予想変動率を基に計算した理論値とします。

また、TFX は毎営業日、取引または建玉の有無に係わらず、全ての上場されている先物限月に対して公式終値を算出し、公表しています（オプション商品は除く）。

算出方法は、清算価格の算出方法を準用します。算出目的は、(1)翌営業日のオプション取引における行使価格を設定する際の中心価格を算出する（ユーロ円 3 ヶ月金利先物のみ）、(2)翌営業日のプレオープン時間帯における呼び値の受付制限を行う際の基準価格を算出するためです。

6. 取引のリスクについて

6.1. 価格変動のリスク

取引対象である金利の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

6.2. 信用リスク

金融取では、投資家の取引を受託する取引参加者に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、取引参加者等の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取引参加者が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。引対象である金利の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

6.3. システム障害リスク

金融取および金融取の取引参加者のシステム、または投資家、取引参加者、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

6.4. 税制・法律等の変更リスク

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

本資料に関する著作権は、株式会社東京金融取引所（TFX）にあります。本資料は、TFX 電子マーケットの概要等の解説を目的とするものであり、第三者への開示や目的以外の使用、無断転用、複製はできません。内容には正確を期すよう万全の注意を払いましたが、何らかの反故があった場合には、TFX の規則が優先されます。また本資料に記載の事柄に関し、将来予告なしに変更することがあります。